

施設における取組のご紹介

【施設】

・田川市障がい支援事業所・就労支援・就労継続支援 つくしの里

【ある利用者さんについて】

- ・78歳、女性
- ・1988年入所、脳性麻痺があり電動車いすを使用

（記録）

入所時(30代後半)に、本人が「生理を止める手術をしたから、介助は心配ないよ。」と本人が施設職員に話した。

幼いころから学校でのトイレは、先生や友人に介助してもらっていた。
13～14歳頃に初潮。
月経時のトイレ介助を申し訳なく思い、学校を休むようになった。
母親に相談して、病院を受診、優生手術を受けた。

【以前の職員の受け止め方】

本人が希望して、そういう手術を受けたんだな。

本人の希望？

トイレの環境が違ったら？
支援があったら、手術を希望
することもなかったのでは？

私たちに足りていなかったもの？
気づき
権利意識

「気づき」をきっかけに、一緒に弁護士へ相談。

【施設の中での取組】

- ・旧優生保護法について学ぶ
- ・施設内の記録を、今の視点で見返す
 - ←障がいのある人は、思いを表現することが難しいかも。。。
- ・いつも関わっている施設職員だからこそ、気づいて本人と一緒に行動できる！